

第43回役員会議事録

I 日 時 平成19年9月27日(木) 14時00分～15時30分

II 会 場 本部棟4階 役員会議室

III 出席者 岩崎学長、工藤理事、腰塚理事、泉理事、波多野理事、吉武理事、谷川理事、
山田理事、岸理事
合志監事、吉井監事、水林副学長

IV 配付資料

第40回役員会議事録(案) ----- [資料1-1]
第41回役員会議事録(案) ----- [資料1-2]
第42回役員会議事録(案) ----- [資料1-3]
平成18年度に係る業務の実績に関する評価結果(原案)について ----- [資料2]
平成20年度筑波大学法人予算予定額の概要(要求ベース) ----- [資料3]
平成18事業年度財務諸表について ----- [資料4]
電力供給用鉄塔建設用地の貸付について ----- [資料5]
寄宿料の改定(値上げ)について(案) ----- [資料6]
孔子復活百周年記念事業「草創期の湯島聖堂～よみがえる江戸の
『学習』空間～」 ----- [追加資料]

V 議 事

1 議事録の確認

第40回役員会議事録(案)、第41回役員会議事録(案)、及び第42回役員会議事録(案)は、それぞれ原案どおり了承された。

2 平成18年度に係る業務の実績に関する評価結果(原案)について

吉武理事から、資料2に基づき、国立大学法人評価委員会から示された、当該評価結果(原案)の概要、及び当該評価結果(原案)に対する意見照会に係る本学の対応について報告があった。

なお、同理事から、平成20年度においては、法人化以降4年間の業績及び教育研究の質の向上について評価が行われることとなる旨の補足説明があった。

監事からのコメントとして、吉井監事から、達成度評価は、当初の計画をどこに設定するかによって評価が変わるものであり、評価においては、過去の実績からどれだけ伸びたのかという「絶対値」の視点が最も重要であることに留意してほしい旨の意見があった。

また、同監事から、教育の質の向上については、どのような指標があるのかを含め評価が難しい旨の意見があり、岩崎学長から、「筑波スタンダード」の整備を始めとする、教育システムの向上に対する本学の取組についてアピールしていきたい旨の発言があった。

3 平成20年度概算要求の概要について

泉理事から、資料3に基づき、平成20年度概算要求に係る本学関係の概算要求事項の概要について、特別教育研究経費及び施設整備費を中心に報告があり、次いで、同概算要求に盛り込まれた主な公募型教育研究資金の状況について報告があった。

なお、同理事から、公募型教育研究資金については、学内への情報提供の機会を設け、獲得に向けた早目の準備を支援していきたい旨の付言があった。

4 平成18事業年度財務諸表の承認について

泉理事から、資料4に基づき、本学の平成18事業年度財務諸表が9月11日付で文部科学大臣から承認された旨、当該財務諸表の概要、及び国立大学法人等の平成18事業年度財務諸表の概要について報告があった。

次いで、国立大学法人等の平成18事業年度財務諸表において、4法人が損失を計上し、また、16の附属病院が実質赤字状態となっていることに関連して、国立大学法人の経営のあり方、今後進むべき方向性等について意見交換が行われた。

5 電力供給用鉄塔建設用地の貸付について

泉理事から、資料5に基づき、東京電力㈱による電力供給用鉄塔建設に係る本学敷地の有償貸付の概要について説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

6 寄宿料の改定及び今後の学生宿舎リニューアル計画について

腰塚理事から、資料6に基づき、平成20年4月入居者から適用する学生宿舎の新たな寄宿料及びその算出根拠、並びに学生宿舎リニューアル計画の概要等について説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

監事からのコメントとして、吉井監事から、本件については、学生食堂など学生生活を支えるソフト面及び長期にわたる建物の維持・管理について十分な考慮をする必要がある旨の意見があった。

7 孔子復活百周年記念事業「草創期の湯島聖堂～よみがえる江戸の『学習』空間～」について

吉武理事から、追加資料に基づき、本学が主催する当該事業の概要について説明があり、積極的に来場願いたい旨の要請があった。

8 世界トップレベル研究拠点プログラムについて

岸理事から、独立行政法人物質・材料研究機構が、文部科学省の「世界トップレベル研究拠点プログラム」の助成対象機関として選定された旨の報告があり、今後も、本学と同機構との協力体制を強化していきたい旨の発言があった。

以 上